

月刊
JMITU

オタクカ



4月号

日本金属製造情報通信労働組合大田地域支部
セガ グループ分会 2018年発行

No.400

春闘・夏季一時金回答

通常昇給 + ベースアップで3%賃上げ

夏季一時金は係数1.75プラス0.5

春闘・夏季一時金について会社からの回答がありました。

セガサミックス以来のベースアップ

昇給については

SHD(一般平均) 1.65%

本人給

948円

評価給

4676円

昇給合計

5624円

SIC(一般平均) 1.65%

本人給

1012円

評価給

4300円

昇給合計

5312円

SLS(一般平均) 1.47%

本人給

940円

評価給

3939円

昇給合計

4879円

通常昇給とあわせると3%の賃上げになる。前回のセガサミックスのようなセガサミHD全体ではなく、旧セガとして業績回復しているところなので旧セガ(SHD、SIC、SGC)で支給する。

その他のセガグループ会社については、実施しない会社もあれば、制度の違うところもある。また、初任給について据え置かれているが、同業他社と比較して差が出ているので引き上げます。大卒で218810円、1万円ぐらい上げています。」

組合「初任給を上げると前年度入社の人達を超えるがどうするのか」

会社「新入社員の初任給が上がることで前年度入社の方の下がる問題については3年目までは育成手当てみたいなイメージをつけて逆転現象

が起きないようにしているので問題ない。」

ベースアップ

SHD 4300円(平均)

基準内賃金1.35%

SIC 4100円(平均)

基準内賃金1.35%

SLS 4920円(平均)

基準内賃金1.53%

対象は正社員のみ
管理職についてもこのベースアップ率で、ベースアップを行う。

夏季一時金

係数2.25

(1.75プラス0.5)

SHD 781251円(平均)

SIC 761909円(平均)

SLS 754914円(平均)

裁量労働手当は開発手当ではない

組合「開発は特殊な業務なのだから事務職と一緒にではなく、裁量労働手当を基準内に入れるべきではないか」

会社「開発職手当として出すことはない。裁量労働手当は、開発職として出している手当ではない。事務職と開発職が優れているとかではなく時間の観点だけ、時間の使い方、長時間労働の問題、残業は良くない。」

組合「他社では裁量労働をやめて今までの裁量労働手当については、盛り込んでいる会社もある。なぜ出来ないのか」
会社「他社とは考え方が違う、開発は当然大事、別に軽んじているわけではない、長時間残業、会社として健康管理時間を見ている。」

副業について

会社「副業についてサイモス上にも上がっています、セガサミーグループ制度化に向けて動いている。基本は他社には雇用されない事、本業が主である事。外の世界を経験することで能力が上がるのではない。実家での手伝いなど向き合っていく、基本的な事がわからないので、社員から意見を受けながら制度化していく。」という事でした。

組合としては、副業が本業にいいことなのか、本業の給料が安定し良ければ副業などすることはないのでないか？副業を行う事で、不規則な労働時間による健康被害や長時間労働が発生するのではないか等、今後問題点の検討をしながら会社と交渉をしていきたいと思えます。

新人事制度のカラクリ 年々下がる昇給率

新人事制度が導入され10年、年々昇給率は下がって来ています。その原因の一つは評価給の上限に達し昇給しなくなった人が出てきている。評価給の上限になったからといって次の資格へ全員が昇格できるわけではありません。

もう一つは資格別評価給の中で3段階に分かれています。中段が下段がいなくなり、ほぼ中段から上段になってしまい、下限の時より昇給額が減っている。これでは、年々昇給率は下がり、総額人件費は以前の制度よりかなり抑えることができています。

今年ベースアップで多少解消はされていますが、ベースアップが毎年行われるとも限りません。

私たち労働組合は、これまでの春闘要求にて「基準内賃金5万円上げろという要求」を掲げてきましたが、新人事制度が導入されて10年、評価給テーブルは、導入から下げることがあってもあげることがありませんでした。

このテーブルが変わらない限り賃上げは常に決まっています。資格の上限に達してしまつた人は、昇給が無くなるといふ問題が発生してしまつた。

今春闘からは「本人給を2万円、評価給を3万円引き上げる」というベースを上げる要求、評価給テーブルにとらわれない昇給ができること判断しました。

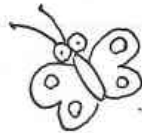
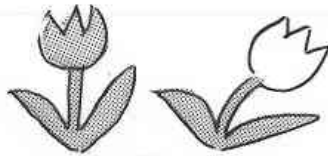
会社の利益という部分もありますが、結果今回の会社回答でベースアップを引き出すことができました。

4こ末漫画



川崎よしき





ショートショート
パンひつじ

仙洞田一彦

五時を過ぎたので、いつものように、夕食を買いに出た。晩酌のつまみと少しの飯。明日、明後日と出かける用事が続くので、今夜の分だけいい。ひとり分だからわずかでもいい。人並みにうまいものを食いたい、手を掛けて作る気力も、根性もない。雨が降る日はすぐのところにあるコンビニで買い物をすませ。値段を比べたわけではないがスーパーの方が安く感じるし、品数もずっと多い。雨でなければ、ゆっくり歩いて十分くらいのところにあるスーパーまで買いに行く。

……カイザンのザンは、込

み入った難しい字だなあ。インペイのインは書けそうだが、ペイはどういう字だったか。ネツゾウもゾウはわかるが、ネツは書けない。

家を出る前に見るともなく見ていたテレビニュースの言葉が、脳裏に浮かんで消えた。

公園の桜は、いつもより早く咲き、いつもより早く散ってしまった。昨日の初夏を思わせるような気温が、今日はがくんと下がって、寒く感じる。風が冷たい。

職場を離れて何年も経つ身、仕事の記憶も薄れてきた。両手をポケットに突っ込んで、うなだれて歩く。職場にいたころの記憶の中からカイザン、インペイ、ネツゾウを探ってみる。襞のなくなった脳をな

ざるように、引っ掛かってくるものは何もない。

上司から文書を書き直せと言われて、書き直した記憶はある。書き直した結果、何かの出来事が左右されるような文書ではなかった。民間会社の平社員が知っていることぐらい、世間の皆様は知っている。インペイしなければならぬような仕事をやっていた記憶もない。ネツゾウなどは、さらにない。

カイザン、インペイ、ネツゾウは、巨額の利益にしか縁がなさそうだ。全く縁のないというのも、ちよつと寂しい気がする。

——本当か。
——自分に都合の悪いことは忘れてしまっているのではないか。

そう自分に問うても、記憶の限りではなかった。

毎日毎日、義理、人情などまったく感じられない世界を見せられ、続けられるのには嫌気がさす。うんざりするが、うんざりさせて、うやむやにするのが狙いかも知れないと思ふとうんざりしつつ、これも抵抗とテレビを見続ける。世捨て人になるほどの度胸もなく、未練を引きずっている。未練も抵抗……。

呼び捨てにするのだから部下と言つていいのだろう。部下があんなに懸命にかばっているのに、薄ら笑いを浮かべている人がいる。「妻は言っていますせん」と繰り返している人もいる。

こつちの時代感覚、人間感覚が古すぎるのか、あの懸命

な部下の姿を見たら「俺の責
任だ、文句あるか」と、啖呵
を切つて見ろと言いたくなる。
そうすれば悪い奴ながらあつ
ぱれ、と思うかも知れない。

迫りくる敵を前に仁王立ち。
命を張つて、殿が逃げるため
の時間を稼がなければならな
い。家来は後ろを振り返り、
殿に言う。

「殿、どうぞお逃げください。
さ、さ」

家来を犠牲にするのは忍び
ない殿は、逡巡する。逡巡す
る殿を見て、家来はさらに言
う。

「一刻も早く、殿」
「うむ」

そういつて逃げる殿は、背
後に心を残し、心の中で涙を
流して逃げる。

妻と自分だけを守り、部下

を切り捨てるなどは親分のや
ることじゃない。親は子を守
り、子は親を守る。それが美
しい涙になつて……。

でも本当は、下衆の案に相
違して、見たこともない料亭
で、見たこともない料理や酒
を囲んで、アベさん、アソウ
さん、サガワさんが、談笑し
ているのかなあ。

「君にばかり、苦しい、屈辱
で、辛い思いをさせて申し訳
ない。サガワの努力にはきつ
と報いるから」

「いえ、いえ、殿達のこと
命に代えて守ります。それが
家臣の仕事……ワツ、ハツハ
ハ」とか。

アベさんアソウさんからす
ればほんのわずかなおこぼれ。
頂戴したサガワさんは満面の
笑顔。それとも殿を守つたと

いう家臣の自己満足か。

イメージすると醜悪で滑稽。
退廃的な場面だ。何か欠け
ている。

入り口に積み重ねてあるバ
スケットを取つて、スーパ
に入った。惣菜の並んでいる
棚の前に行く。昨日はこれ
食つたから、今日は、これ
もなどと考えながら、二パッ
ク取る。三つ取ると余つてし
まい無駄になる。五つあるレ
ジのひとつに並ぶ。前に、ブ
ラウスを重ね着したような上
に、さらに上つ張りを着た、
痩せて背の低い老婆が並んで
いた。老婆の番になつて、バ
スケットをレジの台に置いた。
バスケットの中には、コッペ
パンの真ん中に餡を挟んだパ
ン、ひとつきりしか入ってい
なかつた。

「六十四円です」

レジ係の年配の女が言った。
老婆は握っていた小銭入れを
開いた。小銭入れは開くと中
身が全部見える型のものだつ
た。老婆は十円、二十円と十
円玉をレジの台の上に置いて
行つた。玉をひとつずつ取り
出して行く。十円玉六つに、
一円玉四つ。出すたびに小銭
入れを指でかき回すものだけ
ら、中身が分かる。折りたた
んだ札も、五百円玉もない。
根気よく待っていたレジの
女は「ありがとうございます」
と言つた。

小銭入れの中身、買物をし
た時間から推測すると、今夜
の食事は、あのパンだけなの
か。もしかすると家の電気が
止められていて、テレビなん
か見ていないかも知れない。



第89回メーデーが5月1日(火)代々木公園で開催されます。

2018年は安倍9条改憲や労働法制の全面改悪を許す

のか、それとも憲法9条を守り
いかす政治や社会の実現、メーデーの起源「8時間労働」を軸に誰もが人間らしく生き働く
ルールの確立を実現するのか

がするどく問われるなかでメーデーは取り組まれます。
労働者の生活と権利を守るために仲間をさそって参加しませんか。

労働相談、ご意見、ご質問は、下記にお寄せください。

JMITU 本部 TEL 03-5961-5601 : FAX 03-5961-5603

ホームページ <http://www.jmiu.com/>

JMITU 大田地域支部 TEL 03-3734-3502 : FAX 03-3734-3534

ホームページ <http://www6.plala.or.jp/JMIUOOTA/>

セガグループ分会ホームページ <http://www.jmiusega.com/>